

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**TOTO小倉第二工場新E棟(仮称)**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.33</b>		-			<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15		-			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.8</b>	0.35		-			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		3.5	0.50		-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能	外壁U=1.189、窓U=2.130、SC=0.340	5.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25		-			<b>3.6</b>
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-			
1 昼光率	昼光率:3.6%	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口			-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-			
1 昼光制御	ブラインド、庇によりグレアを制御	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.0</b>	0.25		-			<b>4.0</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策			-		-			
4.2 換気		4.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	居室面積の1/15以上の自然換気有効開口面積を確保	5.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮	各種排気口と6m以上離れて設置	4.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		4.0	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	区画され、負圧に保たれた喫煙所の設置	5.0	0.50		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>		-			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40		-			<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40		-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画	福岡県福祉のまちづくり条例の整備基準を満たしている	4.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30		-			
1 広さ感・景観	天高平均=2.91m	5.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの28.51%+自動販売機等の設置	5.0	0.33		-			
3 内装計画		1.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げ方法や建材、塗装、コーティングを採用している等	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30		-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:カーペット、壁:ビニルクロス、天井:せつこうボード	5.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP(B)、給湯:VLP(C)、汚水及び雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.04	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.77	5.0	0.06	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.62 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.58	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.62	5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.23	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて、省水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		フロアリユーム ソイルド(ビニル系床材)	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=71%	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		「光害対策ガイドライン」「広告物照明の扱い」共に過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	